

한청통신

韓 青 通 信



在日韓国青年同盟 機関紙

2014 年 夏号



切り拓こう！新時代 継承しよう！愛国伝統

祖国の平和と統一のために、真の民主化のために、在日同胞が「民族的に生きる」ために

04



祖国とともに、民族とともに
26 次中央大会を迎える前に、25 期の歩みを振り返る

02

【全国活動紹介】

各本部の活動と取り組みを紹介

06

新連載【蘇る維新独裁】維新復活の危機に歴史を学びなおす
Vol. 3 維新政権と在日同胞

07

旧時代の遺物、維新独裁は退陣せよ！
本性を露にする維新独裁復活の朴政権を【韓青視点】で解説

08

【韓青へのエール】「韓青はわかもの達の未来を担う主人公」
韓青の前途には、勝利と栄光があるのみ

全国活動紹介



アンニョンハシムニカ？韓青大阪府本部です。大阪も夏真っ盛りですが、暑さに負けず、精力的に活動しています。

6月15日(日)に開催されました統一マダン生野では、昨年同様、朝青大阪と共同で出演しました。今回の演目はノレ(歌)。南の歌、北の歌を交互に歌い、最後に統一への願いをこめ「ハナ(ひとつ)」というノレを合唱。在日同胞青年が先頭に立ち、6・15共同宣言を实践していく、という強い意思を会場の参加者の皆様に伝え、大きな感動を呼ぶことができました。

8月23～24日に開催された西日本サマーキャンプでは、新規生とともに、バンド演奏(!)を行いました。特に今回はセウォル号惨事の犠牲者を悼み、二度とこのような惨事が起こらないような、「お金より命を大切にする」祖国を作っていく決意をこめた歌を、歌いあげました。

大阪

京都

안녕하세요! 韓青京都は去る6月29日、多くの同志が見守る中、第29期定期大会を盛大に開催しました!今回はその様子を報告します。

当日は天候にも恵まれ京都のOB・OGをはじめとした先輩・先生様方、全国から駆け付けた同志たちで会場はいっぱいになりました。初めに韓青の愛国伝統を継承する気持ちを込めて「사월의 젊은 사자들」のノレ指導を行い、会場が一体となって大会を始めました。京都のメンバーが主体となり未熟ながらも大会を進行し、無事に新執行部が誕生しました。ここに至るまで多くの困難がありましたが同胞青年の可能性だけを信じ寄り添い、指導支援してくださった皆様の力添えがあつてのことでした。대단히 감사드립니다.

レセプションではまず京都メンバーによる文化発表があり、先輩や同志たちから熱い激励のお言葉をいただきました。最後に全員で肩を組んで歌った「우리의 소원」のために、これからも自主・民主・統一の大道をまい進して行きましょう!



韓国語教室

「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付!

担当: 金梨恵 (私・人)
080-6510-1973

韓国語教材専門店 **ハングルの森**



korean textbook shop

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

兵庫県本部では今年も“統一マダン神戸”と“ハナ・マダンあまがさき”、二つの地域事業を開催しました。兵庫県下の二大同胞密集地域である神戸市長田区と、尼崎市で、地域の皆さんと共に朝鮮半島の平和と統一を願い、その想いを発信!韓青の盟員も準備から当日まで汗を流し、その成功に寄与することができました!

当日はマダン初参加の青年も参加し、ステージでの律動や屋台などを体験し、大きく成長することができました。ハナ・マダンでは、韓国から우리나라의 뽀빠さんをスペシャルゲストとしてお迎えし、前日の交流会から当日のLIVE、そして打ち上げ(午前3時まで ...)と、祖国への想いを語り合いながら、再会を喜ぶ顔、習いたての우리말で緊張しながら交流する顔など様々な想いが重なり合う時間を過ごしました。また一つそれぞれの決意を固める熱い夏となりました!

兵庫





去る 7 月 6 日（日）、名古屋にて開催された三千里鐵道主催の 6.15 共同宣言 14 周年記念集会に参加しました。日本の元内閣官房長官の野中広務氏と、韓国の元統一部長官の林東源氏による基調講演が行われ、会場は満席となりました。現在、日本の右傾化が叫ばれる中、「集団的自衛権の閣議決定は暴挙だ！」と野中氏は述べられました。また、ご自身の過去の体験に基づく思いを包み隠さず述べられた野中氏と、統一問題を第一線で牽引されてきた林氏の東北アジアの平和を力強く願うメッセージは、私たちをはじめとした参加者の心に強く響きました。

そして 8 月 9 日（土）～ 10 日（日）の日程で、サマーキャンプが行われました！まさかの台風直撃により、一緒に参加予定だった東日本のメンバーが来られなくてとても残念でしたが、役員メンバーを中心に参加者が一つになってキャンプを盛り上げました。レクリエーションを通しての交流、班別討論を通しての仲間との意見交換は、とても充実したものとなりました。この勢いで、中央大会も盛り上げよう！

愛知

8 月 9 日、10 日に愛知県知多半島でサマーキャンプを行いました。今回は三重、愛知、東京の 3 地域合同での予定が、まさかの台風直撃により三重と愛知の 2 地域だけの開催となりました。



2 日間のスケジュール内容も大幅な変更となり、荒れた海を眺めながら「今回のキャンプどうなるんだろう」と不安でいっぱいでした。

しかし、海や浜辺で遊ぶことが出来なかった分、室内での交流する時間が増えて、お互いをより一層知ることが出来ました。また、常任や韓青に来て間もない青年による発題発表があり「なぜ韓青に参加したのか」「韓青に参加して今思うこと」というテーマで発表が行われました。発題者それぞれの想い、また発題を聞いた他の参加者の想いも共有できて、日々活動している仲間の新たな一面を知ると同時に、お互いのことを深く知ることで絆が深まったと思います。ハプニングはありましたが、とても有意義なキャンプでした。

絆を深めた仲間と共に、9 月 14 日の中央大会、10 月 12 日の三重の定期大会に向けて一生懸命頑張っています！！

三重

東京

東京本部は毎年夏に行っている統一マダン東京を 7 月 27 日に無事開催しました。準備や片付けに加えて、当日は始まる直前に雨が降る中、出店で飲み物を売ったり司会を担当したりと大忙しでした。

また、8 月 9 日、10 日の一泊二日で開催する予定だった東・中日本サマーキャンプですが、両日に台風が直撃したため愛知県まで行くことができず、急遽東京本部のみで決行しました。最初こそテンションが下がって開き直って TDL に行っちゃうか？！といった案も出るほどでしたが、金大中拉致事件を扱った映画『K.T.』を観たり、温泉に行ってゆっくりしたり、そして夜は発題企画と参加者全員での討論まで、濃い内容の二日間を過ごすことが出来ました。そして全体講演として副委員長の中央大会へ向けての講演も聞くことができ、来たる 9 月 14 日に向けて気持ちを一つにできたのではないかと思います。



HANCHUNGで韓国語

地域	本部	本部	本部
東京地域	千代田区神田佐久間町 3-21-401 各電線 秋葉原駅 徒歩 5 分	大阪地域	大阪市生野区橋谷 3-13-6 近鉄 橋谷駅 徒歩 10 分 地下鉄 今里駅 徒歩 10 分
神奈川地域	横浜市神奈川区青木町 2-1-207 京急 神奈川駅 徒歩 10 分	福岡地域	福岡市南区西 1-3-6 近鉄 布流駅 徒歩 10 分 地下鉄 北洲駅 徒歩 10 分
愛知地域	名古屋市中区錦 3-8-10 各電線 錦町駅 徒歩 10 分	新潟地域	新潟市七軒町 3-3-13-1F 京 立花駅 徒歩 7 分
三重地域	四日市市本町 8-16 山下ビル 京 四日市駅 徒歩 2 分	広島地域	広島市西区南本町 1-7-21-203 京 横川駅 徒歩 5 分
京都地域	京都市下京区西京極通西小路下 キャンパスプラザ京都内各教室 各電線 京都駅 徒歩 5 分		

※ 所在地 交通アクセス

韓青韓国語教室の ▶▶▶ ☎ 0120-734-101
申込み・問合せは ▶▶▶ ✉ chuo@hanchung.org



「한마디」とは「一言」という意味です。韓青全国の盟員が普段活動をしなが話している内容やつぶやきをざっばらんに紹介していきます。



ファミングバード

セミナーの後にアイスクリームケーキを食いつぶし、ただ今ラーメン屋の肥満コース。



今宵もう一杯

兵庫は今からもう一軒です



編集部員 S

昨日がセウォル号惨事からちょうど 100 日にあたり、記念追悼集会と特別法制定を要請するデモ行進が行われた。by 韓青情勢ニュース



映像作家の卵

今回は勝手に撮影、編集した PV 作っちゃいますー★



じよんくん&じよんくん

台風の中のキャンプでしたが無事終了しました！東京がこれなかったのは残念でした。



セミハードボイルド君

関東大震災から 91 年目になります。震災で亡くなられた方々、また無残にも虐殺された在日同胞の方々に追悼の意を表します。



切り拓こう 新時代！ 継承しよう 愛国伝統！ 사랑하자 우리 조직 한청!

26 次中央大会特集 25 期韓青をふり返って

(2010.12.5 ~ 2014.9.14)

私たち韓青は2014年9月14日、26次中央大会を開催することになりました。ふり返ると25期韓青は、韓国の守旧保守政権の反統一政策や執拗な弾圧、右傾化する日本社会の差別・抑圧政策にも屈せず、祖国の平和と統一、在日同胞の真の解放のために自主・民主・統一運動の先鋒隊として尽力して参りました。

ここでは写真を通して25期の活動をふり返り、韓青を支える全ての方々と今期間の活動を共有したいと思います。

1. 祖国の平和と統一のために

米国と李明博・朴槿恵政権の対北敵視政策によって朝鮮半島を覆った戦争の暗雲を取りのぞき、暗礁に乗り上げた南北の和解と協力を推進するために、6・15 共同宣言と 10・4 宣言を支持・実践する活動を精力的に行いました。日本各地で、時には東京の繁華街で、私たち韓青の平和と統一を願う声が響き渡りました。



10・4宣言6周年 ハナフェスティバル2013 (13.9.29 東京)

東京の繁華街・上野で行ったハナフェスティバルは注目度も抜群！会場は同胞で埋めつくされ、街行く人々は「何だ、何だ？」と関心しきり。終了後、P'sキャンペーンの横断幕を掲げて、上野の中心地をピースパレード！



P'sキャンペーン (13.4月~10月 各地)

平和と統一への思いを込めたフォトメッセージにたくさんの方々協力してくださいました。自ら撮影してメールで送ってくださった方も。



コリアンフェスティバルIN 四日市2012 (12.10.14 三重)

統一マダンをはじめ、各地で統一機運を盛り上げるイベントを開催。もちろん参加費は無料！お酒もはいて気分は最高潮！



第18回統一マダン生野 (11.6.5 大阪)
※東京、神戸も開催



米国大使館前抗議行動 (13.3.15 東京)

米国と韓国の戦争策動中止を訴える抗議行動や街頭情宣を行い、朝鮮戦争休戦60年にあたる13年には、日本の方々と連帯して平和協定の締結を求める運動を各地で行いました。「がんばって！」の声に励まされました。

2. 韓国の真の民主化のために

進歩的政権交代を目指して在日同胞に韓国国政選挙の投票権が付与されたことを広報する一方、朴槿惠政権が 80 年の金大中氏以来となる「内乱陰謀事件」をでっちあげ、進歩勢力の抹殺と維新独裁体制の復活をもくろむや、朴独裁政権打倒と韓国の真の民主化を勝ち取るために、朴政権を厳しく糾弾する活動を展開しました。



選挙広報戸別訪問
(11.7.9 京都)

ほとんどの同胞が投票権付与の件を知りませんでした。アンケートをもって広報する過程で、国内情勢や統一問題について幅広く議論できました。



韓国大使館前抗議行動 (13.11.25 東京)

国内外の進歩勢力と団結して、維新独裁を復活させた朴政権を窮地に追い込みました。一方で韓国当局と民団中央は、韓国の民主主義を求める私たちに罵詈雑言を浴びせ、自らその本質を明らかにしました。

3. 在日同胞が「民族的に生きる」ために

学ぶことで、知ることがなかった“祖国・民族”。時には目を背けたくなる“韓国・朝鮮”の文字。韓青は同胞青年が民族に正しく向き合い、堂々と民族的に生きるために、日常活動や国内フィールドワークなど様々な民族教育事業を推進し、『地域の民族学校』を運営しています。



第 50 回韓青全国冬期講習会 (14.3.7 ~ 3.9 長野)



豆乳事業本部国内フィールドワーク
(12.9.13 ~ 9.16 ソウル近郊)

正しい近現代史と分断・統一の歴史を学ぶ国内フィールドワークは“驚きと発見”の連続。祖国と民族の息吹に直接ふれる貴重な体験でした。



第 47 回韓青全国夏期講習会 (13.8.2 ~ 8.4 三重)

夏・冬の講習会事業は、各地の同胞と友だちになれる“最高の出会いの場”。同世代の同胞と語り合い、民族文化に接する空間は、すべての参加者に感動を与えています。
(中：韓青文化マダンのブンムル、下：強制連行跡地のフィールドワーク)



在日コリアンニュース大交流会 (13.5.19 兵庫)

在日同胞史学習会 (13.6.21 京都)

地域でもウリマルや歴史学習会、開講式や各種イベントを開催して、民族マダンの役割を担いました。



在日同胞に「スパイ容疑」

韓 国国内において強圧的な独裁政治を行い、民主化と統一を望む良心的な人々に対し、不条理な弾圧を繰り返していましたが、その弾圧の毒牙は、在日同胞にも向けられていました。

1971年、韓国では朴正熙大統領三選をめぐる、これを阻止しようとする民主化勢力が朴正熙独裁と真正面から対決していました。野党新民党は金大中氏を擁立して選挙戦を戦っており、4月には「民主守護国民会議」が結成されるなど、三選反対運動は韓国全土に広がっていったのです。

そのような中、韓国陸軍保安司令部（KCIC）が、51名の大規模な「政府転覆を企図したスパイ団」4グループの検挙を唐突に発表しました。「在日韓国人留学生らが北朝鮮でスパイ教育を受けて、地下組織、学生デモ、反政府運動、北の侵略と民衆蜂起を画策した」というのです。その後も、「11.22 在日韓国人留学生、青年不当逮捕事件（1975年）」など、多くの在日韓国人学生が「北朝鮮のスパイ」というレッテルを貼られ、次々と不当に逮捕されました。

このように、維新政権は政権基盤を揺るがす危機に直面した時、政権延命のために在日韓国人を政治犯（＝北朝鮮のスパイ）と捏造し、社会不安をあおるために利用してきたのです。

ずさましい拷問の実態



獄中につながれていた
当時の徐勝（ソ・スン）氏

不 当に逮捕され、ありもしないスパイ容疑を「自白」させるための拷問は、凄惨きわまるものでした。日常的に暴力が繰り返され、重傷をおい、その傷がもとになり、獄中で命を落とすケースが多発しました。釈放されたのちも、多くの人々が、拷問の後遺症によって大変苦しい生活を余儀なくされています。

裁判では、このような過酷な拷問の中で自白させた内容を「証拠」として採用し、被告人と弁護人の主張はほとんど無視したまま、一方的に判決を下しました。下された刑は死刑や無期懲役などの重刑がほとんどで、多くの在日同胞が、このような非道な手段によって命を奪われました。

また、このことが在日同胞の民族離れに拍車をかける一因ともなりました。

救援運動の展開

在 日韓国人良心囚を救うべく、日本では在日同胞と日本人が連帯して、大々的に救援運動を展開しました。韓民統（現在の韓統連）と韓青は、「政治犯家族協議会」とともに、「政治犯」たちの実態を描いた映画「告発」の製作、上映を推進し、日本国内における救援運動の発展に大きく寄与しました。そのような運動の成果により、多くの「政治犯」が減刑！釈放され、後の政権の中で再審、無罪を勝ち取りました。

しかし、朴正熙独裁が行ったこのような非人間的な弾圧、政権の窮地を「反共論理」で強引に塗りつぶす手法は、現在の朴槿恵政権にも引き継がれており、統一と民主化を願う多くの民衆を苦しめています。維新体制を復活させ、再び暗黒の道へと突き進もうとする朴槿恵政権には、歴史の審判が下ることでしょう。



「元在日韓国人政治犯（良心囚）の再審無罪と名誉回復、国家保安法の撤廃を求める全国運動署名」の集約集会

한청 시점으로
현 정세를
해설합니다

韓青視点

朴槿恵政権が発足して1年半の間、進歩勢力への弾圧、国家情報院による不正選挙介入とスパイでっちあげ事件、維新残党の人事登用、セウォル号惨事への無能・無責任な対応など、政権の本質が次々と明らかになりました。そのため、7月には支持率が30%台までに下

がり、不支持率が支持率を上回る政権末期の様相を見せました。厳しい国民の目で追い詰められた朴槿恵政権は、維新復活政権の本性をさらけ出し強圧的な政権運営で乗り越えようとしています。

朴槿恵政権は一刻も早く退陣しろ！

セウォル号惨事の真相を究明しろ！
維新独裁時代の政権運営は、旧時代の遺物！



真相究明の声を弾圧する 朴槿恵政権

セウォル号惨事では、政府のずさんな対応を指摘されていた朴槿恵大統領は、ようやく謝罪会見をおこないましたが、それは自身への責任追及を逃れるためのものに終始しました。また、その場で流した涙は国民から「偽りの涙」と批判されています。

遺族は「このような状況では惨事の真相究明・責任者処罰はできない」と考え、捜査権・起訴権が付与され、聖域のない調査ができる「セウォル号特別法制定」の実現のための1千万署名運動に取り組んでいます。

7月13日から続けられていた「ユミンアップ」こと遺族のキム・ヨンオ氏のハンスト闘争は、開始から46日目にして終了しました。この間、新政治民主連合の文在寅議員をはじめ各界各層の人々約2万人以上（インターネット上での表明及び路上闘争参加者）が同調ハンスト闘争に参加しました。



ト闘争に参加しました。

しかし、朴大統領はこの闘いを徹底的に無視し、真相究明を求める国民の声を弾圧しています。特別法を骨抜きにした形での制定を推し進め、問題の幕引きを早めようとしており、遺族をはじめ各界各層から強い批判を浴びています。

責任問題だけが宙に浮いた 首相人事

セウォル号惨事の対応を受けて辞任を表明した鄭烘原首相に代わる候補者選びで朴政権はさらに窮地に立たされました。初めに指名した安大熙候補は弁護士ながら高額報酬を得ていたことを指摘され辞退、次に指名した文昌克候補は反民族的な歴史認識を暴露され辞退に追い込まれました。結果、引責辞任を表明した鄭烘原首相に留任を要請し、責任問題が宙に浮くといった不可解な決着となりました。

ほかにも、教育部長の金明洙候補は論文の不正やインサイダー取引で、文化体育観光長の鄭成根候補は人事聴聞会中の飲酒問題で、指名の撤回、候補の辞退に追い込まれ、政権発足直後にもあった一連の人事の混乱は「人事惨事」と呼ばれています。

韓国国民には、長きにわたる民主化闘争によって進歩的な価値観が強く深く根付きました。しかし朴政権は、政治家の資質に対する道徳性や倫理観といったものが維新独裁時代の価値観のままである

ことを露呈しています。

維新独裁を正当化する限り、朴政権と国民の間には決して埋まらぬ深い溝があるとと言えるでしょう。



反対勢力への不当な弾圧は まさに維新独裁そのもの

このような中、朴政権は統合進歩党への解散審判請求をはじめ、政権批判勢力への不当な弾圧を強めてきました。特に、同党の李石基議員に対する「内乱陰謀事件」では、証拠として提出された録音ファイルの一部が国家情報院によって歪曲されたものであったことが第一審で明らかになり、8月11日におこなわれた控訴審では、内乱陰謀罪は無罪、その主体とされた地下革命組織「RO」の存在が否認されました。

韓国の現代史には、「民衆を力で抑えつける政権は、必ずそれよりも強大な民衆の力で倒される」という真理があります。このままでは、朴槿恵政権は維新独裁政権と同じ末路をたどることになるでしょう。

韓 青 へ の エ ー ル 韓 青 は わ か も の 達 の 未 来 を 担 う 主 人 公

青年時代は若い生命力が躍動し、感動し、夢と希望が胸にあふれ、ものごとに熱中し、行動のエネルギーにあふれています。

それ故に青年は、なにか確かなもの、ゆるぎないもの、力いっぱい打ちこめるような人生の目的をしっかりとつかみたいと思っています。

青年は羅針盤としての人生論を求めます。

人生の羅針盤は、世界や社会の現実と、その中における自分のおかれている位置を正しく意識した道理にあった科学的なものでなければならないと思います。青年のもっているあふれるような行動力と情熱を真に正しく、社会発展の方向に向けて発揮するためにも、その長い全生涯を真に意義ある充実した人生とするためにも、青年の時代に透徹した科学的な世界観、人生観、科学的な社会発展の理論を学び、その上に立った人生観を確立することは決定的に重要です。

青年は未来に生きる世代であり、その未来を担い切り開くのも青年の役割であります。

韓青には、50年余りの愛国運動の歴史と輝かしい伝統をもっているばかりか、自主・民主・統一運動の思想的、理論的指針であり、実践の武器としての『愛国論』があります。

私たちが深く『愛国論』を学ぶことは、歴史発展の法則性をはっきりとつかみ、未来に対する科学的な見通しと確信をもつためであります。

私はいま、あらためて愛国主義に裏打ちされた韓統連の綱領の全文を読みかえし、その科学性、先見性、創造性、原則性に深い感銘を受けています。綱領が私たちの運動の羅針盤として、その生命力を発揮しています。

韓青は、この愛国思想でしっかりと武装し、祖国統一への燃えたぎる情熱と未来に対する確信を抱き、「歴史の意思を実践する」ために、日夜、奮闘しています。

韓青は、祖国の美しい未来を想像する崇高な闘いの中で、青年の力と知恵を遺憾なく発揮しています。

私も青春時代に韓青を通じて、自国の民族文化、歴史に対する意識を高めるとともに、奪われた言葉と魂をとりもどす運動の中で、民族的な誇りと自負心をつちかうことができました。また叫竜亨先生の『愛国論』に出会うことによって、民族の未来に対する揺るぎない確信をいただくことができました。

韓青は、韓統連の頼もしい先鋒的な闘士であり、韓統連の後継者であるとともに、未来を担う主人公であり、創造者でもあります。

今後も、韓統連の賢明な指導のもとに、その偉業の正しさを確信し、輝かしい未来をめざして前進する韓青の前途には、ただ勝利と栄光があるのみです。

郭元基・韓統連中央副議長

editor's letter

まだ 24 期執行部だった 2008 年にこの『韓青通信』が新創刊してから、まる 6 年以上の月日が流れました。この期間は韓青史上でも大きな出来事が目白押しで、2010 年 25 期執行部の出帆とともに韓青結成 50 周年記念式、2012 年は在外同胞が史上初めて韓国国政選挙に参加、そして 2013 年には『韓青通

信』がリニューアルフルカラー化(笑)など、本当に沢山のことに取り組みました。

その分多くの情報発信も行いましたが、青年たちの思いや実践をどれほど伝えることができたのか、実際はその半分も伝えられていないのではないか、という思いも残りました。これから新しい執行部とともに新しい編集部

が立ち上がると思いますが、より韓青の感動が伝わる、地域の同胞青年が楽しみにするような紙面作りに期待したいと思います。

ご意見ご感想、投稿は



chuo@hanchung.org